

九労 Kyuro Hello! ハロー

理念 地域住民と勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供します。

- 基本方針**
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
 - 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
 - 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
 - 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
 - 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

2021.October vol.88

がんばって
います!
診療科紹介

放射線治療科

放射線治療科 部長 野元 諭

平素より患者さんのご紹介、治療後のご加療継続、診療協力にこの場を借りて感謝申し上げます。

当院は令和2年4月より地域がん診療連携拠点病院として機能しております。その中で、放射線治療は重要な位置付けとなります。放射線治療の適応は、定位放射線治療や強度変調放射線治療のような手術成績に匹敵する高精

度放射線治療、根治目的の(化学)放射線治療、手術困難症例の放射線治療、術前・術後放射線治療、症状改善を目的とした緩和放射線治療があります。表に令和2年の症例内訳を提示致します。当科ではほぼ全領域のがんが対象となっています。

がん治療においては他科との密な連携やチーム医療も重要と考えています。カンサーボードでの協議、週1回の科内多職種カンファレンスを行ない、治療方針や経過の情報共有を行っています。

現在(令和3年9月)の治療部門メンバーは、放射線治療常勤医(専門医)1名、非常勤1名、放射線治療研修医1名、専従放射線治療技師(品質管理士)1名、専任放射線技師3名、がん放射線療法認定看護師1名、放射線科外来看護師3名で構成し、それぞれの専門分野を生かし連携しています。

地域がん診療連携拠点病院の放射線治療部門として、主に北九州、京築地区のがん治療に貢献すべくスタッフ一丸となって頑張っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(患者さんのご紹介に関しては地域連携部門にお問い合わせ頂きますと幸いです。)



▲前列左より3番目 野元 諭部長

令和2年1～12月の症例内訳

原発部位	症例数
脳	6
頭頸部	6
肺・縦郭	49
乳腺	29
肝・胆・膵	12
消化管	29
泌尿器	53
婦人科	14
骨軟部	20
皮膚	4
血液・リンパ	6
緩和治療	症例数
脳転移	4
症状緩和	75
高精度治療	症例数
体幹部定位放射線治療	12

整形外科科長就任のご挨拶

この度 4 月より整形外科診療科長を拝命しました。九州労災病院の整形外科は総勢 24 名からなる大所帯の診療科で、もとより身に余る重責ではありますが少しでも皆様のお役に立てるよう全力を尽くす所存でございます。



九州労災病院整形外科
科長 河野 勤

12 年を振り返る

2009 年 4 月より当院に赴任し早いもので 12 年もの歳月が過ぎました。当時の葛原の旧病院は既に老朽化が否めない状況ではありましたが、その末席に名を連ねることは大層心躍る気持ちであったと記憶しております。

そしてあらためて振り返りますに、私自身は皆様からご紹介頂いた患者さんの診療や頂戴したご助言ご指導を通じてかけがえのないたくさんの経験を積むことができました。これもひとえに長きに渡り確立されてきた地域の強力なサポート体制のおかげであって、この地が私を整形外科医として育ててくれたと強く実感するに至りましては、この場をお借りし御礼申し上げますとともにこれからは少しでもこの御恩に報いることができると決意する次第であります。

新体制で取り組む

体制は変われど我々の役割はこれまで同様で、急性期医療を担う基幹病院として地域医療に貢献することと心得ております。そのために、①整形外科のあらゆる分野において診療の質の向上を図り、皆様の要望に即応できる体制を築きたいと思っております。そして、②我々の診療内容については学会研究会や論文等を通して積極的に外部に発信し御報告させていただきたいと思っております。更には、③研修に来ていただく若い先生方にとって魅力的な診療科と感じてもらえるよう教育にも十分注力したいと思っております。

地域に根ざし飛躍する

九労整形の名実を、共に、更に、高めていきたいという野望と、そのことがより一層の皆様からの信頼と患者さんの安心に繋がっていくようにという希望を懐き、私なりの心構えを持って精進して参る覚悟であります。どうぞ変わらずご支援賜りますようお願い申し上げます。

ナースのスペシャリスト

がん看護専門看護師・認定がん専門相談員 **岩崎 玲奈**



患者サポートセンターに在籍し、緩和ケアチームの専従看護師として活動しています。2人に1人ががんを経験する時代となり、がん治療を受けながら社会生活を送る方も増えてきました。治療が個別化、長期化するなか、緩和ケアは終末期のみに提供されるものではなく診断を受けた時から始まります。診断初期から終末期まで、それぞれの時期に生じる苦痛の緩和に繋がるサポートを心がけています。

がん診療連携拠点病院として当院は ACP（アドバンス・ケア・プランニング）についても取り組んでおります。福岡県の ACP ツールである「一言日記帳」を通し、人生の最終段階にある患者さんやご家族のご希望を尊重しながら、看護師も医療チームの一員として意思決定支援が行えるように知識の普及や院内システムの構築を行っています。地域の医療福祉関係者の皆様と協働することで、患者さんやご家族へのシームレスなケアの提供を目指しておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

がん看護相談窓口開設のお知らせ

九州労災病院では、更なる円滑な連携を目指し、地域の医療福祉関係者の皆様にご利用頂けるようにがん看護相談窓口（直通電話）を開設致します。この窓口では、患者さん（利用者さん）の疾病、治療や副作用、今後の治療の方向性、療養生活等に関連した困り事について一緒に考えさせていただきます。



がん看護相談 ご利用について

- 連絡先** 093-475-9750（直通）
- 相談場所** 九州労災病院1階 患者サポートセンター
- 受付時間** 平日 8時30分～17時
- 相談方法** 電話 または 対面
- 対応者** 患者サポートセンター看護師

（主にがんを専門とした専門看護師や認定看護師が対応させていただきます）

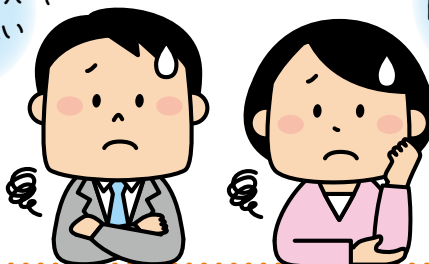
どのようなことでもかまいません。
担当医を含め、院内連携して
対応させていただきますのでどうぞ
お気軽にご利用ください。

例えばこんなこと

治療の副作用
が辛そうなので
相談したい

緩和ケアについて
相談したい

●●について
情報提供し
ておきたい



そろそろ在宅
医療につなげ
たい

食事量が減って
きているが大丈
夫だろうか？

治療方針につ
いて主治医の
意見を聞きたい

患者サポートセンターをご利用ください

- 電話・FAXによる紹介患者さんの受診予約・事前受付
- MRI・CT・胃カメラ等の検査予約
- 救急診療のご依頼
- 転院に関する相談・紹介・問い合わせ
- 診療に関する様々な問い合わせ
- 患者さんに関する情報や返事が滞っている場合
- 診療情報提供書の発送業務
- 開放型病床利用に関すること
- セカンドオピニオン外来に関すること

お困りのことがあれば
ご連絡ください



九州労災病院

〒800-0296 北九州市小倉南区曾根北町1-1

TEL 093-471-1121 (代表)

ホームページ

<http://www.kyushuh.johas.go.jp>



患者サポートセンター

患者サポートセンターSTAFF

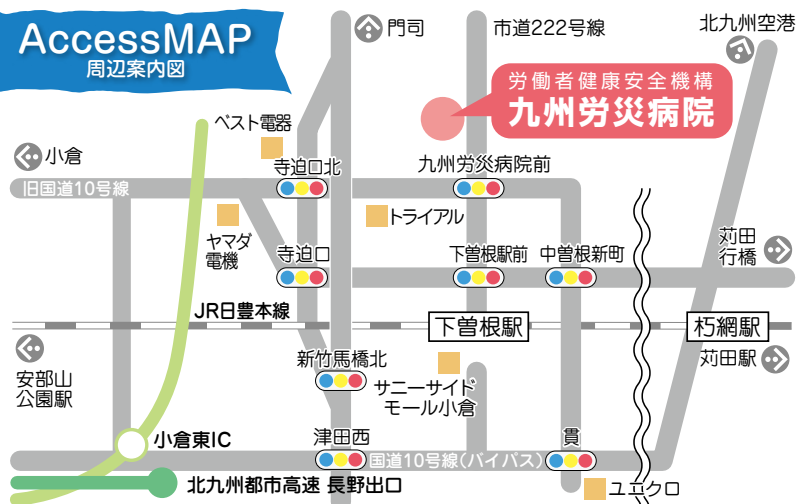
センター長	副院長	中島 信能
副センター長	看護師長	樋渡 英子
	医事課長	三浦 靖幸
入退院支援部門	看護師	岩崎 玲奈/安永 恵/佐々木 香代
		中村 美喜/上田 清香/上原 敦子
		河本 純子/水上 恭子
社会福祉部門	M S W	坂出 友美/竹中 芳美/鈴木 幸
地域連携部門	事務	武久 亜紀子/小笠原紗彩乃
		黒田 早苗/西山 淳子/迫 やよい

お問い合わせ先

入退院支援部門 社会福祉部門	代表電話	093-471-1121
地域連携部門	直通電話	093-475-9686
共通	F A X	093-473-5903
	E-mail	renkei.renk-k@kyushuh.johas.go.jp

AccessMAP

周辺案内図



診療案内

受付時間	午前8時15分～午前11時
救急受付	急患は24時間随時受け付けます
診療時間	午前8時45分～午後5時15分
休診日	土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
初診時 選定療養費	5,500円 診療情報提供書のご持参を お願いしております